

## 出張講義開講科目内容紹介

〈経営学・会計学・経済学分野〉 この分野1ページの第1

氏名	岩田 智 (いわた さとし)
題目	代表的な研究者から学ぶ地域づくりのポイント
キーワード	農山漁村、地域経営、地方創生
講義概要	この講座では、最新の農山漁村の地域づくりの研究動向から、地域づくりのポイントを学びます。 具体的内容は、農山漁村の地域活性化について研究している、代表的な研究者を取り上げてその考え方を学びます。
対象	高校生
備考	プロジェクターとスクリーンを使用

氏名	松田 淳 (まつだ じゅん) ※学部長
題目	アイドルを売り出せ～AKB48で学ぶ経営学～
キーワード	経営学、マーケティング、製品＝市場戦略
講義概要	製品(商品)とは、店頭に並べれば勝手に売れるわけではありません。企業としては、売れる製品を考案し、売れる場所(市場)で売らなければ、けっして売れはしないのです。この講義では、アイドルグループ、AKB48の売り出し戦略を事例として取り上げ、企業がどのように製品を売るための工夫や努力をしているのかについて知ることで、経営学(とくにマーケティング論)の基本を学びます。
対象	特に制限なし
備考	6～7月、10～1月までの月・火・水 プロジェクターとスクリーンを使用

氏名	松本 安司 (まつもと やすし)
題目	簿記入門、簿記学習のTips、または簿記から会計学へ
キーワード	簿記、会計学
講義概要	簿記学習未経験の方(たとえば大学入学後に簿記を学ぶ予定の方)には、簿記を学ぶ意味を、家計を例に説明することからはじめ、商業簿記との違いを説明し、商業簿記学習スタートへの橋渡しをしたいと思います。 簿記学習中の方には、資産と費用の違い、売上原価計算の意味、決算整理の意味等、上級になると忘れがちではあるが、理解が不可欠な内容をお話したいと思います。 会計学を学びたい方には、会計学によってどのような意思決定ができるか等、実際の社会において会計学がどのように役立っているのかの例をいくつかお話ししたいと思います。
対象	問いませんが、おおよその内容のご相談をお願いします。
備考	4月から7月までは月・火、10月から1月までは木・金をお願いします。

氏名	谷藤 真琴 (たにふじ まこと)
題目	課題研究のまとめ方
キーワード	問題の発見、情報収集、まとめ方、発表の仕方
講義概要	問題の発見の仕方、テーマ設定の方法、問題を解決するための(フィールドワークを含めた)情報収集の方法、収集した情報のまとめ方、発表の仕方等課題研究に関する作法やコツについて話します。
対象	特になし
備考	講義の内容等は受講生に合わせて調整しますので、ご相談ください。

〈情報科学分野〉 この分野 1 ページの第 1

氏 名	鎌田 真人 (かまだ まさひと)
題 目	人間とコンピュータ ーコンピュータ囲碁・将棋から考えるー
キーワード	人間、コンピュータ、ゲーム、囲碁、将棋
講義概要	囲碁や将棋は、二人零和有限確定完全情報ゲームの一つで、コンピュータによる対局ソフトの研究が行なわれています。コンピュータ対コンピュータの大会、人間対コンピュータの対局などを通して、人間とコンピュータについて話します。囲碁や将棋のルールを知らなくても聞くことができます。
対 象	高校生
備 考	プロジェクタとスクリーンが必要です

氏 名	鼻高 茂樹 (しょうたか しげき)
題 目	ネットワークの構築
キーワード	ネットワーク構築、実習
講義概要	現在世界中に張り巡らされ、世界に向けての情報発信や情報収集が可能なインターネットは、学校や企業などを単位とした小さなネットワークから構成されています。これらの、小さなネットワークを結びつける物として、ネットワーク機器であるルータがあります。このルータにより結びつけられたネットワークが網の目のように世界中を覆うことでインターネットが構築されている訳です。 本講義では、仮想的にパソコンを用いた小さなネットワークを構築し、次にルータとしてUNIXを使用し、この小さなネットワークを繋げていくことで大きなネットワークを構築することで、ネットワークの仕組みを理解することを目的としています。
対 象	高校生
備 考	「宮古短大施設利用」 (宮古短大にある機材を使用するため)

氏 名	大志田 憲 (おおしだ けん)
題 目	ソーシャルメディアにおける情報の収集と分析
キーワード	コンピュータ、スマートフォン、ソーシャルメディア、SNS
講義概要	スマートフォンなどの情報通信機器が普及することで、多くの人々がSNSやブログなどのソーシャルメディアを活用し、様々な情報を発信するようになりました。コンピュータを利用してSNSなどの投稿を収集・分析することで、その中から有用な情報を取り出すことも可能になります。岩手県に関するいくつかの投稿例 (観光地等) を参考に、どのような投稿が多いのか、またその内容の傾向なども紹介していきます。
対 象	高校生
備 考	プロジェクタが必要となります。

氏 名	齋藤 香織 (さいとう かおり)
題 目	情報の活用とセキュリティ
キーワード	
講義概要	情報通信技術の発展により、コンピュータやインターネットは社会生活に不可欠なものとなっています。このような中、情報システムを構築するハードウェアや情報システムの機能を実現するソフトウェアの重要性と合わせて、情報通信技術を介して取り扱われる情報の重要性が指摘されています。今後更なる活用が期待されるビックデータや多くの情報を守るための情報セキュリティについて、それらを支える技術や活用事例、今後の課題等情報を取り扱うために必要な知識について身近な問題から広く考えることを目的とします。
対 象	中学生・高校生
備 考	

〈教養分野〉 この分野 2 ページの第 1

氏 名	川島 英城 (かわしま ひでき) 「微生物学」
題 目	「生命の神秘」を読み解く
キーワード	生命、遺伝子、進化、環境
講義概要	生命の神秘は計り知れない自然のひとつです。現在、分子レベルでは主にタンパク質・糖質・脂質の機能解析手法を用いて、生命の本質を理解するために鋭意研究が世界中で行われています。その中で、生命科学に関する最近のトピックス[(例) 分子進化・遺伝子診断・環境汚染物質など]の研究成果を受講者にわかりやすく解説します。さらに、生命科学の研究成果は人間社会に何をもたらすのか合わせて展望します。
対 象	中学生・高校生・一般の方
備 考	「テーマや内容」については事前の調整をします。

氏 名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学、地域言語学、社会言語学、日本語史学
題 目 A	岩手県沿岸部の方言に学ぶ現代日本語の観方 (みかた)
キーワード A	生活語、日本語、沿岸部の方言、地域文化
講義概要 A	この講座の目的は、日本語と地域言語の正しい観方 (みかた) について考えることです。その材料に、私たちの住む岩手県沿岸部の方言を使います。普段私たちが友達との会話や生活に使う日本語こそ、私たちの思考や感情を100%表現しきれぬ唯一の表現体系です。その正確な認識は、「国語」の成績向上や豊かな言語生活そして正しいコミュニケーションに必要です。また、本講座の材料の岩手県沿岸部の方言には、日本語の中でも珍しい現象があります。ぜひこの機会に一つでも二つでも理解し、地域文化に対する愛着心を抱いていただきたいと思います。 【予定内容】 0 「現代日本語に関する《誤解と正解》10項」 / 1 「『岩手県沿岸部の方言』の位置と概要」 / 2 「地域言語の理解に必要な基本三項 (言語学の基礎研究の立場から)」 2①音声レベルでの正確な観察＝正しく聴く、2②時間的広がりをつまみとらえる＝変化の過程の中でとらえる、2③空間的広がりをつまみとらえる＝関連する言語体系と併せて観る / 3 「地域言語の理解のための新しい観方四項 (応用言語学の立場から)」 3①地域言語的用法の共通語視、3②新方言、3③言語行動、3④言語経済 / 4 「地域言語の将来」
題 目 B	「能」「狂言」鑑賞入門
キーワード B	能楽、狂言、伝統芸能、芸術
講義概要 B	「能」と「狂言」は、南北朝～室町時代に成立発展し、江戸時代を通じて台本が整理され、現代に伝わる日本芸能を代表する伝統舞台芸術です。「能」は“神話性”や“歴史性”、「狂言」は“喜劇性”や“日常性”と、性格はかなり異なりますが、両者はいわば『兄弟』のように発展してきました。動画や台本からその実際を知り、約束事や曲目の基本知識などにより、伝統芸能も「易しい」「楽しい」「親しみやすい」ものであることを理解しましょう。また、重要な語彙・語法・音韻等の言語現象についても、適宜解説を加えて、鑑賞の一助とします。特に「狂言」を題材とすると、現代日本語の形成過程がよく分かります。 【予定内容】 1 「能舞台」、2 「能の構成」、3 「舞台上の人々とその役割」、4 「能楽公演の番組表」、5 「能と狂言」、6 「狂言の構成」、7 「能楽の流儀」、8 「能鑑賞入門」、9 「狂言鑑賞入門」
対 象	中学生・高校生・学校教職員及び講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は、受講者に合わせて調整します～
備 考	A、Bのいずれの科目がお望みか、事前にお知らせください。 【必要設備】 大画面の映像投影装置をご用意ください。 (A：パソコンからの静止画像投影。B：パソコンからの静止画像投影+DVDによる動画上映)

〈教養分野〉 この分野 2 ページの第 2

氏 名	三村 敬之 (みむら たかゆき) 「英語学」・「言語学」
題 目	日本語と英語の言語的特徴について
キーワード	日英比較、言語の多様性と普遍性、英文法
講義概要	言葉を用いて日常的にコミュニケーションを行っている我々の周りには、数多くの自然言語が存在します。この講義では、数ある自然言語の中でも、主に日本語と英語に焦点を当て、両言語に見られる表現上の類似点と相違点をもとに、日本語と英語の言語的特徴を考察していきます。この講義を通して、皆さんが日頃慣れ親しんでいる日本語と現在学習している英語の理解をより深めていきたいと思えます。
対 象	高校生
備 考	パソコンとプロジェクターが必要となります。